

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 甲第 1851 号

Correlation between the *Bayley Scales of Infant and Toddler Development, Third Edition*, and subsequent developmental status at age 6 years in very low birthweight children

(極低出生体重児におけるベイリー乳幼児発達検査法第 3 版を用いた発達評価と 6 歳時の認知発達との相関)

三友 聡美 (みとも さとみ)

博士 (医学)

#### 論文審査結果の要旨

本論文は、極低出生体重 (VLBW) 児において 3 歳に行ったベイリー乳幼児発達検査第 3 版 (BSID-III) と、6 歳の認知発達との関連から BSID-III の有用性を検討した。

BSID-III の認知および言語の合成得点と、カウフマン心理教育アセスメントバッテリー (K-ABC) の認知処理、同時処理、継次処理の標準得点はそれぞれ全て有意な正の相関がみられた。また下位尺度間の比較においては、BSID-III の認知、受容言語、表出言語はそれぞれ K-ABC の絵の統合、語の配列、位置探しと正の相関を認めた。

以上の結果より、3 歳時 BSID-III は 6 歳時の全般的認知機能と相関し、さらに下位検査間の比較からは、BSID-III の認知、受容言語、表出言語尺度はのちの空間認知、知覚統合、ワーキングメモリーを測る課題と相関することが明らかとなった。これらの能力はすべて、早産・低出生体重児において困難がみられやすいとされる領域である。本論文は、極低出生体重児の認知発達特性や学習障害のリスクを早期に予測するうえで、BSID-III の認知および言語尺度が有用である可能性を示唆した、臨床的に意義ある論文である。

よって、本論文は博士 (医学) の学位を授与するに値するものと判定した。